

操作マニュアル



初回同梱リスト	1
DFreeのしくみ	2
DFreeを使うには	
1. 本体を充電する	3
2. 中継機の準備	4
3. DFreeの装着準備	6
4. DFreeの装着	7
5. DFreeの取り外し方法	10
6. お手入れ方法	10
本体LEDランプ/ボタン操作について	11
こんなときは	12
取扱に関する注意事項	12

初回同梱リスト

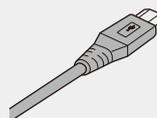
取扱説明書



DFree本体



DFree充電ケーブル



DFreeテープ
(※ オプション)



ジェル
(※ オプション)



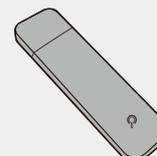
中継機



中継機ACアダプタ



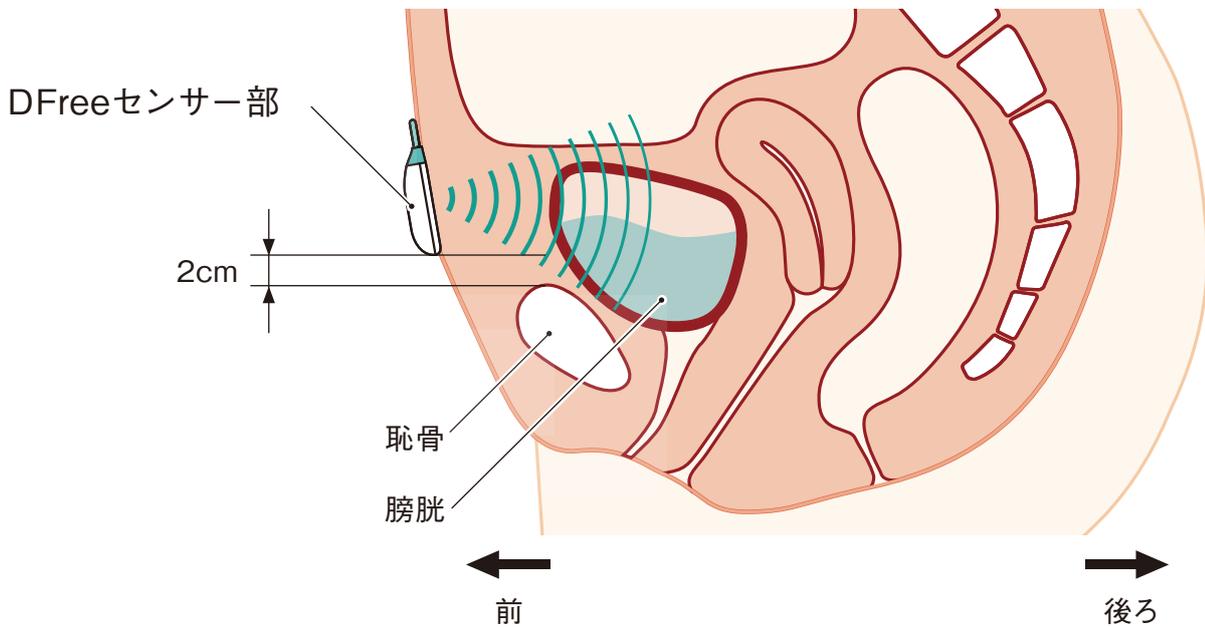
中継機SIMドングル
(※ オプション)



DFreeのしくみ

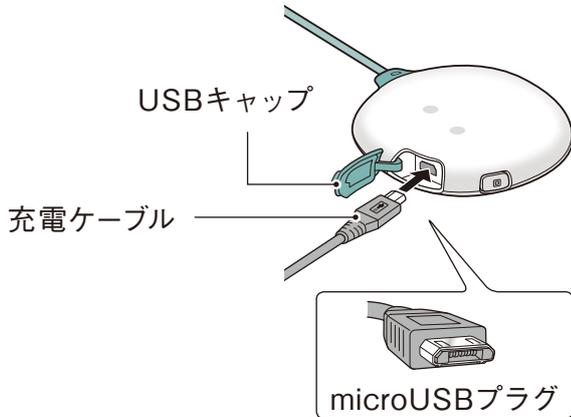
超音波により膀胱の膨らみの変化を捉えます。

膀胱は恥骨の上に乗るように位置しているため、センサー部を恥骨の上端から2cm上の位置に装着します。

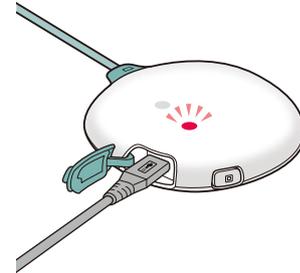


1. 本体を充電する ※初回充電時のみ、必ずACアダプタを使用し、フル充電にしてください。

USBキャップを開け、
付属充電ケーブルの小さい方のプラグ
(microUSBプラグ) を本体に差し込みます。



充電中はLEDランプが赤色に点灯します。
消灯し、LEDランプが緑色に点灯すると、
充電完了です。



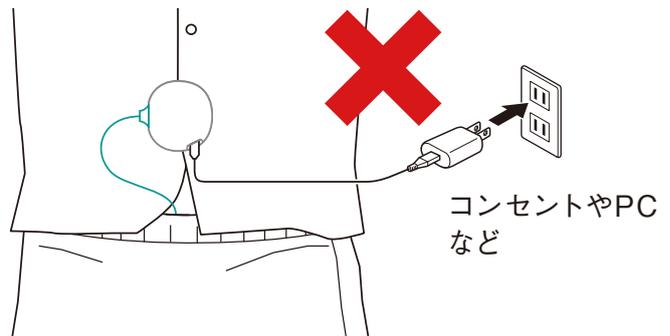
充電ケーブルのもう片方のプラグ (USBプラグ)
はパソコンに接続するか、市販のAC電源アダプ
タを使用してコンセントに差し込んでください。

充電時間の目安 (0からフル充電した場合)	約4時間
使用時間の目安 (フル充電した場合)	約24時間 [※]

※ 充電残量や温度環境により異なります

 注意

 装着しながら充電しない。
感電の原因になります。



2. 中継機の準備

中継機の役割

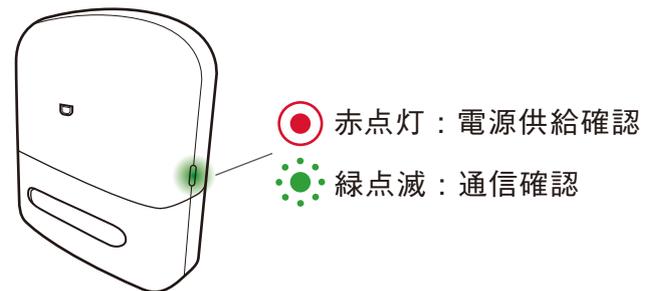
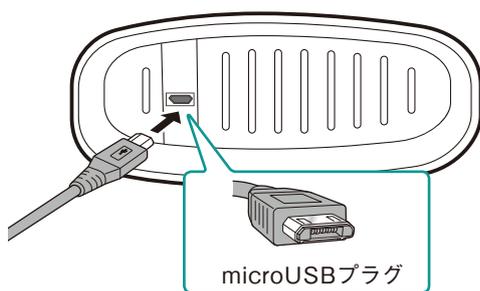
中継機は、DFreeで取得したデータをクラウドサーバーに送信する際に、データの中継する役割を果たします。



中継機をセットアップする

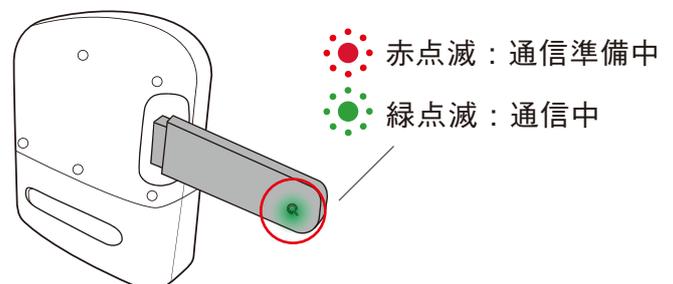
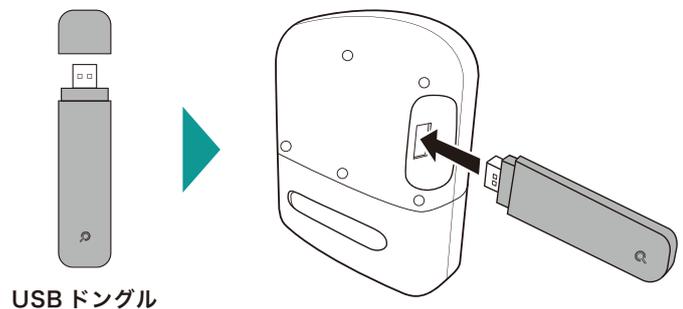
(1) 施設WiFiを利用する場合

- ① 中継機裏面にACアダプタのmicroUSBプラグを挿し、コンセントと繋がります。
- ② 中継機側面のLEDが光れば利用準備完了です。



(2) 施設WiFiを利用しない場合 (※USB dongleが付属します)

- ① USB dongleのキャップを外し、中継機側面のUSBポートに挿します。
- ② (1)の手順で中継機をコンセントに繋がります。
- ③ USB dongleが赤点滅します。
- ④ 約1~5分で緑点滅に変われば利用準備完了です。



※DFree使用中にUSB dongleのLEDが10分以上、赤点灯が継続している場合は中継機のACアダプタをコンセントから抜き挿しして一度リセットしてください。

中継機の設置

中継機は、居室および共同スペース（食堂、リビングルームなど）に設置してください。

- ・中継機1台につき、1台のDFreeのみ通信できます。
- ・DFreeの通信可能距離は10mです。

中継機の設置例



【注意事項】

- 1.1つのDFreeに対して装着者の居室とリビングルーム・食堂に各1つずつ設置すること。
- 2.中継機はテレビや冷蔵庫など電子機器の近くには設置しないこと。
- 3.中継機の接続は一口のコンセントにつき2つまでとすること。

3. DFree装着準備

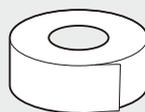
事前準備



ジェル

センサー部裏面に塗布します。

装着前にジェルをポケットに入れ温めておきます。



テープ

センサー部を身体に固定します。

DFree本体の電源オン / オフ

操作ボタンを3秒長押しすると電源がオンになります。

電源をオフにする時は、操作ボタンを3秒長押しします。
LEDランプが赤色に2回点滅し、電源がオフになります。



接続確認 (ペアリング)

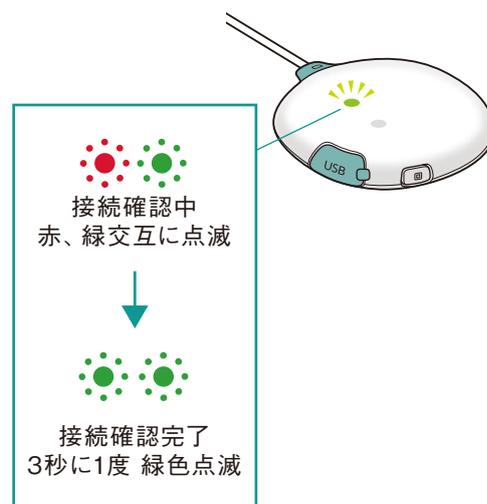
- 1 電源がオンになると、DFree本体と中継機の間で接続確認 (ペアリング) が行われます。

接続確認中はLEDランプが赤色と緑色に交互に点滅します。

- 2 接続確認が完了すると、LEDランプが3秒に1度緑色に点滅します。

※ LEDランプが赤色と緑色に交互に点滅している状態から変化しない場合、中継機が正しく設定されているか確認してください (→ P4 中継機の準備)

中継機が設定されている場合は、DFree本体の電源を一度オフにし、再度オンにしてください。

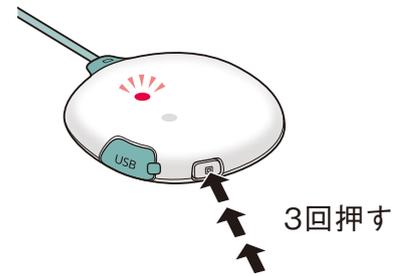


4. DFreeの装着

1 DFreeを位置あわせ(アジャスト)モードにする。

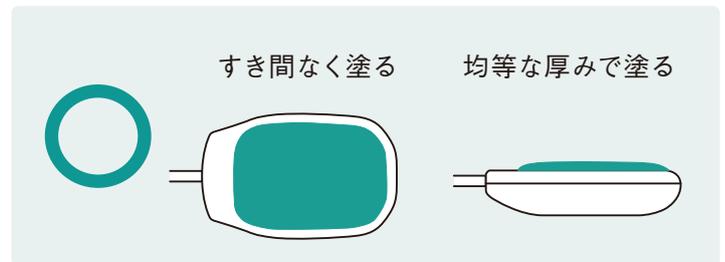
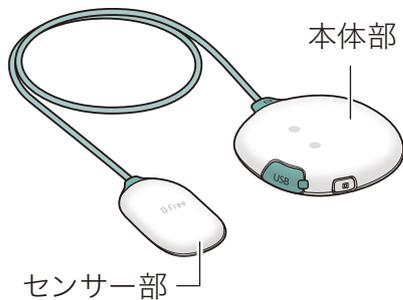
電源がオンの状態で、操作ボタンを3回連続で押して、位置あわせ(アジャスト)モードにします。

位置あわせ(アジャスト)モードに入ると、LEDランプが赤色に点滅します。



2 センサー部にジェルを塗る。

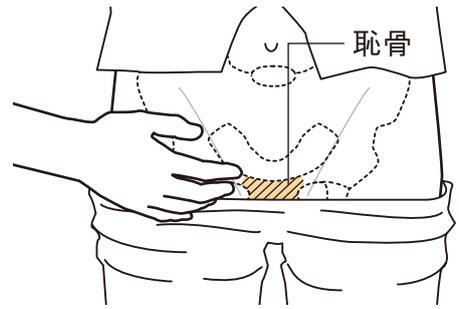
ジェルはセンサー部の裏面 (ロゴのない面) にすき間なく塗布してください。



3 センサー部を貼り付ける位置を決める。

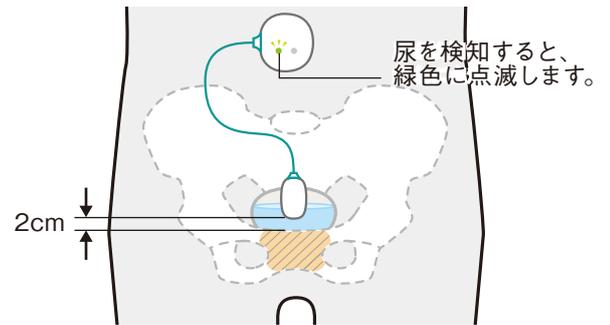
- ① 恥骨の位置を確認します。

仰向けの状態で衣服を下ろし、手で恥骨の上端を確認してください。



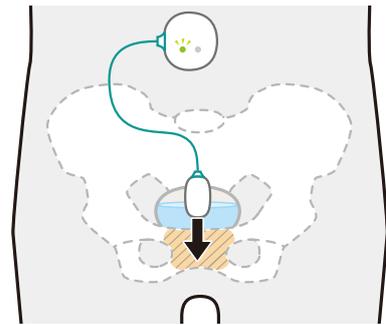
- ② センサー部を恥骨の約2cm上に当て、LEDランプが緑色に点滅する事を確認します。

LEDランプが緑色に点滅しない場合は、膀胱に尿が溜まっていないことが考えられます。
その際は、恥骨の上端から2 cm上を目安に装着するか、1 時間後に再度試してください。



- ③ 緑色の点滅を維持しながらセンサー部を徐々に下げてください。
赤色に点滅する手前が適切な位置になります。

センサー部は、縦向きにして、ケーブルが上にくるようにしてください。



LEDが赤色点滅する手前までセンサー部を下げる。

4 センサーをテープで固定する。

テープでセンサー部を2箇所、ケーブルを1箇所、固定します。

ポイント

- 陰毛が多い場合は、適切なデータを取りにくくなります。その際は、医師または看護師に相談の上、剃毛してください。
- テープは上下端をしっかりと押さえて貼ってください。
- テープが短すぎるとうまく貼ることができません。
- 体表にはみ出たジェルは拭き取ってください。テープ剥がれの原因になります。



センサーを2箇所

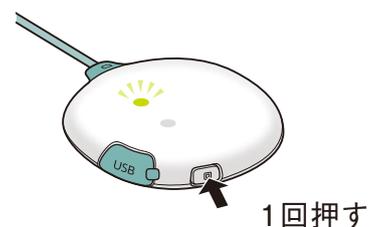


ケーブルを1箇所

5 位置合わせ（アジャスト）モードを終了する

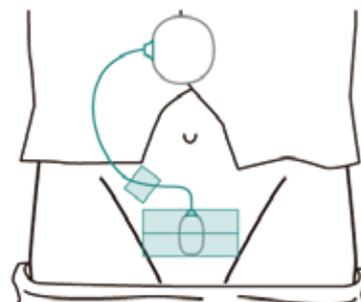
テープでセンサー部を固定し終わったら、
操作ボタンを1回押して位置合わせモードを終了します。

正しく通信が行われていれば、LEDランプが3秒に1度
緑色に点滅します。



6 上着などに本体部をクリップで固定する。

ズボンなどに取り付けると、脱いだときに本体部が外れ
てしまう恐れがありますので、上着につけることをおすす
めします。



DFreeテープ

肌が弱い方のためのシリコーン粘着剤を使用したテープです。
肌からテープをはがす際、肌をほとんど傷つけず肌のトラブルを
少なくする商品設計となっています。DFreeセンサーが
肌から優しくはがせるシリコーンテープとして製品化しました。
ISO10993（医療機器の生物学的評価）による安全性の検証をしています。

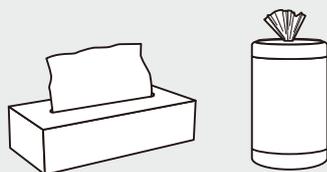


【使用上および保管上の注意】

- ・傷口には使用しないでください。また、肌に異常がある場合も使用しないでください。
- ・肌のトラブルが起きやすい方は、事前に医師もしくは薬剤師にご相談ください。
- ・シリコーンに対するアレルギー体質の方は使用しないでください。
- ・重度な浮腫の方、肌が非常に弱い方など、すべての人に肌の障害が起きないというわけではございません。
- ・直射日光を避け、湿気の少ない涼しい所で保管してください。
- ・本品の使用により、かゆみ、発疹などの症状があらわれた場合は速やかに使用を中止し、医師もしくは薬剤師にご相談ください。
- ・テープを貼る際、皮膚を清潔にし良く乾かした状態でご使用ください。
- ・重ねて貼る部分はテープが付きにくいので注意してご使用ください。
- ・テープを肌から剥がす際、肌を傷つけたり痛めないようにゆっくりとテープを折り返し、肌が持ち上がらないように手で押さえながら体毛方向に逆らわず、ゆっくりと剥がしてください。

5. DFreeの取り外し方法

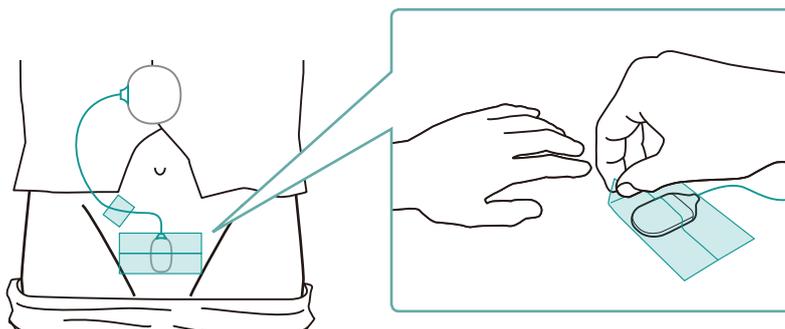
用意するもの



ティッシュ
(ウェットティッシュやホットタオルでも可)

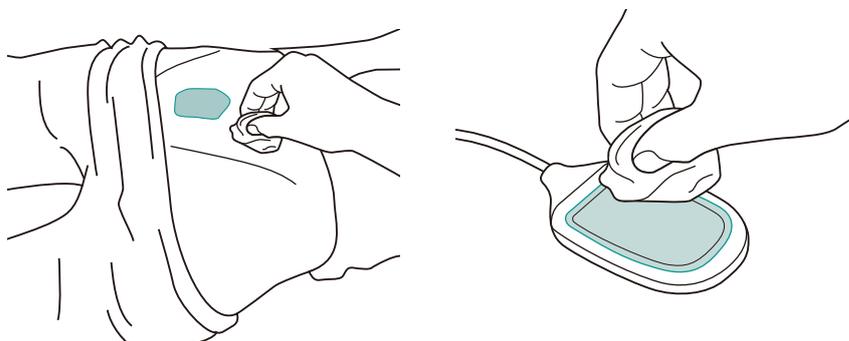
1 テープとセンサーを外す。

肌に負担がかからないように片手で肌を押さえながらゆっくりとテープを剥がします。



2 ジェルを拭き取る。

体に残ったジェルを優しく拭き取り、センサー部に付着したジェルも拭き取ります。



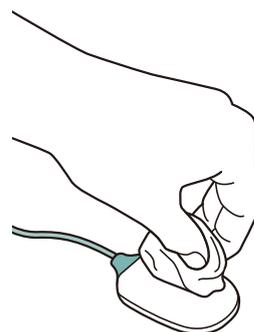
6. お手入れ方法

水または中性洗剤をしみこませた柔らかい布でセンサ部を拭いてください。

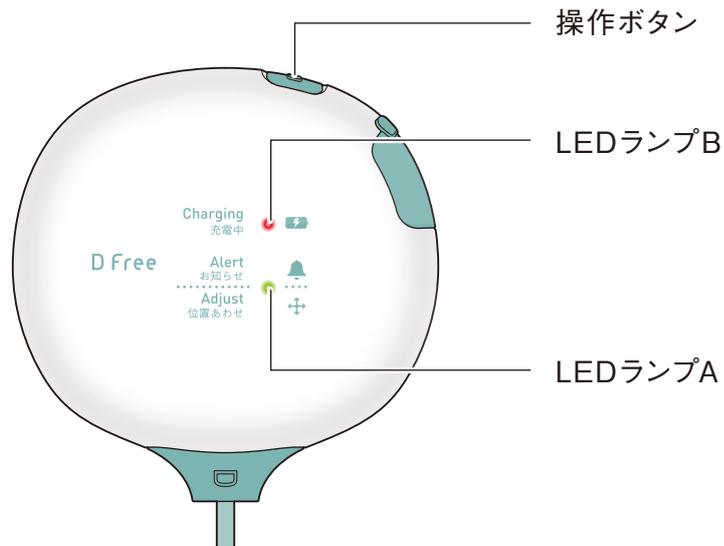
※消毒が必要な際はアルコールや次亜塩素酸消毒液を染み込ませた布で拭き取ってください。

お願い

水洗いはしないでください。
シンナーなどの有機溶剤、
研磨剤入りクリーナーは
使用しないでください。



LEDランプ／ボタン操作について



		ボタン操作	LEDランプA 緑色	LEDランプA 赤色	オレンジ色	LEDランプB 赤色
電源オン・オフ ／ペアリング	電源オン (ペアリング中)	3秒長押し			—	—
	ペアリング完了	—		—	—	—
	測定中	—		—	—	—
	電源オフ	3秒長押し	—		—	—
充電時	充電中	—	—	—	—	
	充電完了	—		—	—	—
	電池不良	—	—	—	—	
お知らせ	充電が必要	—	—		—	—
	エラー	—		—	—	—
位置合わせ (アジャスト) モード時	位置合わせモードオン	3回連続押し	—		—	—
	尿反応なし	—	—		—	—
	尿反応あり	—		—	—	—
	位置合わせモードオフ	1回押し	—	—	—	—

こんなときは

症状	原因	対処方法
電源が入らない。	充電されていない。	付属の充電ケーブルを使って充電してください。
	操作ボタンを長押ししていない。	操作ボタンを約3秒長押ししてください。
センサー部の位置合わせがうまくいかない。	膀胱に尿が溜まっていない。	尿が膀胱に溜まっていないときは、うまく検知できない場合があります。 1時間ほど待ってから再度試してください。
	位置あわせ(アジャスト)モードになっていない。	操作ボタンを3回押して位置合わせモードに入ります。位置あわせモードに入ると、LEDランプ A が赤色に点滅します。
尿をうまく検知できない。	センサー部にジェルを塗っていない。	ジェルを塗らないと正確に測定できません。
	センサー部の取り付け位置が正しくない。	センサー部を正しい位置に取り付け直してください。(→6ページ)

取扱に関する注意事項

【禁忌・禁止】

1. 傷など未治癒の下腹部にセンサー部を装着しないこと。
2. 妊婦に対して使用しないこと。
3. 乳幼児に対して使用しないこと。
4. 本体を水に沈めたり、水をかけたりしないこと。

【使用上の注意】

1. 装着箇所に違和感を覚えた場合、使用を中止すること。
2. センサー装着部の赤みが2時間経ってもひかない場合、連続装着は控えること。
3. DFree本体部が体の下に巻き込まれないように注意すること。
4. 本品を他の超音波機器と併用しないこと。
5. 強い電磁波を出す装置と近接した場合、動作が不安定になることがあるので、X線、携帯電話、無線装置の近くなど電磁波が生じる機器の付近で使用しないこと。
6. 使用するジェルは超音波診断用のものを使用すること。
7. 可燃性ガス等の付近では使用しないこと。
8. 中継機の接続は一口のコンセントにつき2つまでとすること。